



平成25年3月22日

## 学士課程教育の内容と教育目標達成度を可視化した

### 「学士課程教育構築システム (Q-cum システム)」が本格稼働

本学では学士課程教育の構築のため、大学並びに各学部における「学位授与の方針 (ディプロマポリシー, DP)」、「教育課程編成・実施の方針 (カリキュラムポリシー, CP)」及び「入学者受入れの方針 (アドミッションポリシー, AP)」を明確に定めた上で、体系的なカリキュラムの整備とそれに沿った教育の実施を行います。これらを実施する上で重要な役割を果たすコンピュータ・システム「学士課程教育構築システム (Q-cum システム)」を、本年4月より本格稼働させます。

このシステムは、学士課程教育の内容と教育目標達成度の可視化を実現した岡山大学固有のシステムであり、教育内容やカリキュラムの持続的な検証と改善が容易になります。

「学士課程教育構築システム (Q-cum システム)」が稼働すれば、以下のことが可能になります。

- ① 大学・学部・学科は
  - ・ 「学位授与の方針 (ディプロマポリシー, DP)」とカリキュラムとの関連性を把握できます。
  - ・ カリキュラムの見直しと体系化が容易にできます。
  - ・ 社会に対して学士力保証の客観的根拠を提示できます。
- ② 教員は
  - ・ 授業内容・方法を容易に改善できるようになります。
- ③ 学生は
  - ・ 学士力評価チャート (学士力達成状況をチャート図で示したもの) によって 学士力を視覚的に把握できます。
  - ・ 履修相談など学生と教員とのふれあいへの糸口となります。

さらに、毎年度、学士力評価チャート等が提供されますので、PDCA サイクル (ある活動を円滑に進める手法の一つで、Plan (計画) → Do (実施) → Check (評価) → Act (改善) の4段階を繰り返すことによって、活動を継続的に改善していくというものです。) として 学士課程教育の改善を継続的に行うことが容易になります。

このように、「学士課程教育構築システム (Q-cum システム)」は、本学における学士課程教育構築のための重要なツールとなります。

なお、本学が行おうとする学士課程教育構築の取り組みの目的は、以下のとおりです。

- (1) 教育の充実の観点から、学部・大学院を通じて、学士・修士・博士・専門職学位といった学位を与える課程 (プログラム) 中心の考え方に整理し、学部段階の教育を「学士」を与えるに値するものに大学として構築し直すこと。
- (2) 今まででは、何を教えるかという教師目線だった教育を、何ができるようになったかという 質的保証を目指した学生目線に変えること (学生が主語)。
- (3) 岡山大学の 学位授与の方針 (ディプロマポリシー, DP) に合致した卒業生を社会に送り出すこと。

#### <お問い合わせ>

岡山大学教育開発センター教授

副センター長 佐々木 健二

(電話番号) 086-251-7626 (FAX 番号) 086-251-8440

(メール) sasaki-k@cc.okayama-u.ac.jp

岡山大学学務部学務企画課 総務・企画グループ (企画担当)

主査 成本 浩二

(電話番号) 086-251-7170 (FAX 番号) 086-251-8440

(メール) narumoto-k@adm.okayama-u.ac.jp